



スペクトルインテリジェンス

- [スペクトルインテリジェンス \(1 ページ\)](#)
- [スペクトルインテリジェンスの設定 \(2 ページ\)](#)
- [スペクトルインテリジェンスの情報の確認 \(2 ページ\)](#)

スペクトルインテリジェンス

スペクトルインテリジェンス機能は、2.4 および 5 GHz 帯域で非 Wi-Fi 無線干渉をスキャンします。スペクトルインテリジェンスは、マイクロ波、連続波（ビデオブリッジやベビーモニターなど）、Wi-Fi および周波数ホッピング（Bluetooth および周波数ホッピングスペクトラム拡散（FHSS）コードレス電話）の 3 種類の干渉を検出する基本的な機能を提供します。

次の Cisco アクセス ポイント（AP）は、スペクトルインテリジェンス機能をサポートしています。

- Cisco Catalyst 9115 シリーズ Wi-Fi 6 AP
- Cisco Aironet 1852E/I AP
- Cisco Aironet 1832I AP
- Cisco Aironet 1815W/T/I/M AP
- Cisco Aironet 1810W/T AP
- Cisco Aironet 1800I/S AP
- Cisco Aironet 1542D/I AP



(注) Cisco DNA Center アシユアランス AP ヘルスでノイズ、電波品質、干渉、無線使用率などの無線の詳細情報を取得するには、Cisco Aironet 1832 および 1852 シリーズの AP でスペクトルインテリジェンス機能を有効にする必要があります。

制約事項

- SI AP は、ローカル モードで 1 つの干渉タイプのみを報告します。
- SI は、電波品質または干渉レポートのハイ アベイラビリティをサポートしていません。報告された干渉レポート/デバイスはスイッチオーバー後にスタンバイにコピーされないため、高可用性はサポートされません。干渉源がまだそこにある場合は、AP から再送信されると想定しています。
- スペクトルインテリジェンスは、次の 3 タイプのデバイスのみを検出します。
 - マイクロ波
 - 連続波：ビデオ レコーダー、ベビー モニター
 - SI-FHSS：Bluetooth、周波数ホッピング Digital European Cordless Telecommunication (DECT) 電話機

スペクトルインテリジェンスの設定

スペクトルインテリジェンスを設定するには、次の手順に従います。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例： Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	ap dot11 {24ghz 5ghz} SI 例： Device(config)# ap dot11 24ghz SI	802.11a または 802.11b ネットワークで 2.4 GHz または 5 GHz スペクトルインテリジェンス機能を設定します。 802.11a または 802.11b ネットワークで SI を無効にするには、コマンドの no 形式を追加します。

スペクトルインテリジェンスの情報の確認

スペクトルインテリジェンスの情報を確認するには、次のコマンドを使用します。

2.4 GHz または 5 GHz 帯域の SI 情報を表示するには、次のコマンドを使用します。

```
Device# show ap dot11 24ghz SI config
```

```
SI Solution..... : Enabled
Interference Device Settings:
```

```
SI_FHSS..... : Enabled
Interference Device Types Triggering Alarms:
SI_FHSS..... : Disabled
```

2.4 GHz 帯域の連続トランスミッタ タイプの SI 干渉源を表示するには、次のコマンドを使用します。

```
Device# show ap dot11 24ghz SI device type cont_tx
```

```
DC      = Duty Cycle (%)
ISI     = Interference Severity Index (1-Low Interference, 100-High Interference)
RSSI    = Received Signal Strength Index (dBm)
DevID   = Device ID
AP type = CA, clean air, SI spectrum intelligence
```

No	ClusterID	DevID	Type	AP Type	AP Name	ISI	RSSI	DC
Channel								

	xx:xx:xx:xx	0014	BT	CA	myAP1	--	-69 00	133
	xx:xx:xx:xx	0014	BT	SI	myAP1	--	-69 00	133

5 GHz の特定の AP に関する 802.11a 干渉デバイス情報を表示するには、次のコマンドを使用します。

```
Device# show ap dot11 5ghz SI device type ap
```

```
DC      = Duty Cycle (%)
ISI     = Interference Severity Index (1-Low Interference, 100-High Interference)
RSSI    = Received Signal Strength Index (dBm)
DevID   = Device ID
AP type = CA, clean air, SI spectrum intelligence
```

No	ClusterID/BSSID	DevID	Type	AP Type	AP Name	ISI	RSSI	DC
Channel								

2.4 GHz 帯域のすべての Cisco CleanAir 干渉源を表示するには、次のコマンドを使用します。

```
Device# show ap dot11 24ghz cleanair device type all
```


翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。